



尾間木中だより

学校教育目標
豊かな心を持ち、
たくましく生きる生徒

平成 29年 8月 29日 第5号

〒336-0926 さいたま市緑区東浦和4-29-1
電 話 048-874-9733
F A X 048-810-1127



「ものを動かすことによりその存在を明らかにする」

校長 堀 田 明 良

夏の強い日差しが照りつけた7月、雨が多かった8月初旬、中旬も過ぎ、再び夏の日差しが戻ってきました。じっとしていても汗が止まらない暑さの日もありました。そのような日に屋外を歩いている途中、木陰や水辺の近くを通ると少し暑さも和らぎました。風鈴の音も涼しさを感じさせてくれます。生徒の皆さんは部活動の休憩時間、日陰で風に吹かれたことにより心も体も癒され、また頑張ることができたという経験をしたのではないかと思います。

夏季休業中の尾間木中の生徒の皆さんも素晴らしい成果を残してくれました。県学校総合体育大会ではサッカー、陸上競技、バドミントン男子、ハンドボール男子、相撲、水泳が出場、どの種目も健闘しました。中でもサッカー部は2年ぶり3度目の優勝を果たし、関東大会に出場しました。特に決勝戦の延長後半に追い風に乗って放たれた2ゴールはとても印象的でした。関東大会出場にあたり、地域の皆様をはじめ多くの皆様にご支援いただいたことにこの場をお借りして改めて御礼申し上げます。また、県吹奏楽コンクール南部地区大会で見せた圧巻の演奏、市美術部展での素晴らしい作品にも感動しました。他にも市夏季大会などに向けて練習や試合に取り組んだ部や、2年生に代替わりし新たな体制を固めるために取り組んだ部など、学校は毎日生徒の姿が見られました。

夏季休業中は一生懸命勉強に取り組んでいた生徒の皆さんも含め、「暑さ」という恵まれていない環境で努力していた人も多くいたことでしょう。サッカー日本代表チームで活躍している本田圭佑選手は「どこでプレーしても俺の成長はある。」と言っています。恵まれている環境でも、恵まれていない環境でも成長できるという、とても前向きな言葉です。恵まれた環境と恵まれない環境には、どちらにも長所と短所があります。恵まれた環境とは目標達成意欲が低くなる環境ともいえます。なぜなら、成功しなくても現状のままでも良いという、心のすきが起こりやすいからです。逆に、恵まれない環境とは目標達成意欲が高くなる環境といえるでしょう。目標を達成すれば、恵まれていない環境から抜け出せるという、ハングリー精神が生じるためです。向かい風に当たり続けることにより、無駄な部分が除かれ、芯が通ってくるのでしょうか。もちろん、恵まれた環境には、目標達成を助けてくれる多くの要素があるため、怠けず行動さえできれば成功しやすい環境とも言えます。その反面、恵まれない環境は、目標達成からは遠い、大変な状況からのスタートなため、成功する前に心が折れ、挫折してしまう人もいるでしょう。しかし、どちらであろうと利点が必ず存在します。つまり、利点に着目し、環境に不満を言わずそれを受け入れ、利点を活かした行動することが、本田圭佑選手の「どこでプレーしても俺の成長はある」という名言の意味だと思います。

2学期が始まりました。暑さを和らげる風が吹く季節に始まり、北風が吹く季節に終わる長い学期です。生徒の皆さんには、授業に取り組みながら、体育祭などの行事ではクラスのまとまりの力で「旋風」を巻き起こし、日頃の生活では「風通しの良いクラス」をつくって欲しいと思います。



「風はすべて目に見えないものを代表している」

(チェスタートン イギリスの作家)